

トI S H I K A W Aラックのひろば



[TOP NEWS]

能登半島地震からの本格的な復旧・復興に向けた対応などを決議

～第50回定時総会を開催～

全国大会を目指し、競技に挑む

～第45回トラックドライバーコンテスト石川県大会～

7

vol.287



今月のSPOT

野々市市(御経塚遺跡と椿・野々市中央公園・ののいち椿館)



©野々市市オープンフォト

野々市市は、白山を仰ぐ古くから加賀の中心として栄えた場所です。

平成16年12月に新しい野々市町役場と情報交流館カメラアが竣工し、平成23年11月の市制施工と同時に市役所の庁舎となり現在に至ります。

特産品も多く、キウイフルーツやヤーコンや野々市ブランド認定品として椿の水引アクセサリー、石川県民が愛するチャンピオンカレー等あります。

国指定重要文化財喜多家住宅や椿山史跡御経塚遺跡など歴史探訪できるスポットもありますので、ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。

直通ダイヤル



代表

076-239-2511

助成・融資事業

076-239-2284

適正化事業課

076-239-2285

陸災防

076-239-2393

ISHIKAWA

トラックのひろば

C O N T E N T S

7

JULY
287号

ホームページ



1 TOPNEWS

能登半島地震からの本格的な復旧・復興に向けた
対応などを決議

～第50回定時総会を開催～

全国大会を目指し、競技に挑む

～第45回トラックドライバーコンテスト石川県大会～

「氷室開き」に参加、物流の重要性をPR

～加賀飛脚再現事業～

7 ご案内

令和6年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金
(低炭素型ディーゼルトラック普及加速化事業)

令和6年度石ト協各種助成申込状況

第25回 SDラリーコンテスト

10 6月のおもな NEWS

11 適正化 NEWS

熱中症の救急措置

トラックGメンにお聞かせください

13 業界 NEWS

業務前自動点呼の先行実施要領について

梅雨期及び台風期における防災態勢の強化について

14 情報コーナー

新規会員のご紹介

7月の行事予定

会員名簿の変更・訂正

交通事故発生状況

軽油価格

17 事例研究



TOP NEWS

トップニュース

能登半島地震からの 本格的な復旧・復興に向けた 対応などを決議

～第50回定時総会を開催～

石川県トラック協会（久安常信会長）は、6月5日（水）、石川県トラック会館において、会員512名（本人102名、委任状411名）が出席のもと、来賓に馳浩県知事（代理…北村裕一企画振興部次長／石川県）、佐橋真人局長（北陸信越運輸局）、八木健一局長（石川労働局）、西村和市交通部長（石川県警察本部）を迎え、第50回定時総会を開催しました。

冒頭、久安会長が「当協会では、能登半島地震への対応にあたり、多くの会員事業者に協力をいただき、石川県との協定に基づく緊急救援物資輸送を行った。任務を遂行したドライバーの皆様改めて感謝を申し上げる。被災地の復旧・復興には長い年月を要するが、引き続き必要な支援を続けるので、ご理解とご協力をお願いしたい。2024年問題については、国会において、物流効率化法と改正貨物自動車運送事業法が可決・成立するなど、国を挙げての対応が進められている。当協会においても『標準的な運賃』や『標準運送約款』の周知を図るなど、適正なコスト收受等転嫁対策を推進しているところである。また、人材確保対策については、業界の魅力を積極的に発信し、将来の業界を担う人材確保に引き続き努めることとしている。この他、交通・労災事故防止対策や大規模自然災害に備えた万全な体制確立な

ご 来 賓



西村交通部長
(石川県警察本部)



八木局長
(石川労働局)



佐橋局長
(北陸信越運輸局)



北村企画振興部次長
(石川県)



決議案を朗読する東崎青年部会長



挨拶をする久安会長

総会決議

- 一、能登半島地震からの本格的な復旧・復興に努める。
- 一、取引環境の改善等「2024年問題」への適切な対応に努める
- 一、「標準的な運賃」等の活用による適正なコスト収受に努める
- 一、燃料費対策及び自動車関係諸税等の簡素化・軽減の実現に努める
- 一、多様な施策によるドライバーの確保と育成に努める
- 一、交通・労災事故防止及び環境・SDGs、物流DXの推進に努める



新たに理事に選任された堀井裕介氏（トナミ運輸(株)北陸主管支店長／写真右）と小林篤弘氏（日本通運(株)北陸支店長／写真左）

どについても引き続き取り組む所存である」と挨拶し、引き続き、来賓各位からそれぞれ祝辞を賜りました。

その後、議案審議へと移り、令和5年度事業報告並びに貸借対照表、正味財産増減計算書の承認に関する件や役員補充選任の承認に関する件など全5議案について審議し、全ての議案が満場一致で承認されたほか、令和6年度事業計画及び収支予算書についての報告がされました。

議案審議終了後、東崎真也青年部会長が「能登半島地震からの本格的な復旧・復興」や「取引環境等『2024年問題』への適切な対応」をはじめとする総会決議案を力強く朗読し、満場の拍手を以て採択されました。



各部門の優勝者／左から松川選手（4t部門）、宮谷内選手（11t部門）、田中選手（トレーラ部門）



寺瀬秀昭専務理事
（石川県交通安全協会）



西村和市交通部長
（石川県警察本部）



猿谷克幸支局長
（石川運輸支局）



TOP NEWS

トップニュース

全国大会を目指し、競技に挑む ～第45回トラックドライバーコンテスト石川県大会～

石川県トラック協会は、6月15日（土）、石川県運転免許センター（金沢市東蚊爪）において、第45回トラックドライバーコンテスト石川県大会を開催し、各事業所を代表する14名の選手が安全運転の知識と技能を競い合いました。

開会式では、久安常信大会長が「本大会はドライバーの技能向上と業界全体の安全意識高揚を目的に開催している。選手の皆様には、培った実力を存分に発揮してほしい」と挨拶し、来賓の方々からの祝辞後、入口竜光選手（日本郵便輸送株）が力強く選手宣誓を行いました。

その後、選手らは各部門ごとに分かれ、全国大会出場を目指し、「学科競技」及び運転と点検の「実科競技」に挑み、与えられた課題に集中して取り組みました。

閉会式では、多数の応援者らが見守る中、成績発表が行われ、各部門の入賞者には端岩男専務理事から表彰状と副賞が手渡されたほか、10



力強く選手宣誓を行う入口選手



開会式であいさつをする久安会長



選手たちは日頃の業務で培った実力を存分に発揮しました



4t部門

- 優勝 松川 克也 ★
(石川日通運輸株)
- 準優勝 麻生 雅樹
(セイノスーパーエクスプレス株)
- 第3位 [REDACTED]
(日本梱包運輸倉庫株)

11t部門

- 優勝 宮谷内 健太郎 ★
(日本通運株)
- 準優勝 富永 芳朗
(西濃運輸株)
- 第3位 浅田 穰次
(日本通運株)

トレーラ部門

- 優勝 田中 利秋 ★
(星崎運輸株)

※大会実施要領に基づき、「★」が全国大会に出場する



講評を行う増林首席陸運技術専門官(写真右)と加茂研修課長(写真左)



月に茨城県で開催される全国大会への出場選手が発表されました。

最後に、増林真一郎首席陸運技術専門官(石川運輸支局)と加茂秀樹研修課長(石川県安全運転研修所)が「決められた時間内で正確な技能を競い合う本大会では、日頃の業務とは違った緊張感があったと思う。選手の皆さんには、本日の経験を活かして、これからも業務に精励していただき、更なるご活躍を期待している」と大会の講評を行いました。

「氷室開き」に参加、物流の重要性をPR ～加賀飛脚再現事業～



7月1日の「氷室の日」を前に、金沢の夏の風物詩「氷室開き」が金沢市湯涌温泉で行われ、加賀飛脚に扮した当協会青年部会員が、雪氷を担いで17km先の金沢駅まで運びました。



金沢の観光地を駆ける飛脚たち



氷室から切り出された雪氷を受け取る東崎青年部会長（左）



運搬を終えた青年部会員と関係者の皆さん



雪氷を手渡す小前田副会長（左）

かつて江戸時代に氷室氷を将軍家へ献上するため、昼夜を問わず走り運んだとされる飛脚たちを現代に復活させた加賀飛脚再現事業。本年度10回目となる本事業に青年部会員ら23名が参加・協力しました。

雨が降りしきる中、加賀飛脚に扮した青年部会員らは、重さ60kgの長持を担ぎ、威勢のよい掛け声とともに湯涌温泉を出発し、金沢の中心部を通りながら、沿道の声援を力に約4時間をかけて金沢駅に辿り着きました。

到着した金沢駅では、当協会の役員や湯涌温泉観光協会の関係者らが、大勢の観光客とともに拍手で出迎え、長持から雪氷が取り出されると、ひととき大きな歓声が上がりました。雪氷は、当協会の小前田副会長から湯涌温泉観光協会の山下新一郎副会長に手渡され、小前田副会長は「本年も歴史ある湯涌温泉の氷室開きに参加させていただき、無事、雪氷を運ぶことができた。時代は移り変わるが、運ぶことへの責任と誇りは我々トラック運送事業者がしっかりと受け継いでいる。これからも機会を捉え、物流の重要性を発信していきたい」と挨拶しました。

運ばれた雪氷は、7月1日（月）に石川県庁と金沢市役所へ届けられたほか、かつて加賀藩の屋敷があった東京都板橋区、目黒区、文京区にも贈られました。



徳田博副知事（右）と村山卓金沢市長（左）のもとにも雪氷が届けられました



ご案内

令和6年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金 (低炭素型ディーゼルトラック普及加速化事業)

1. 補助対象

トラック運送事業者（中小事業者（資本金3億円又は従業員数300人以下）に限る）又はトラック運送事業者（中小事業者）に車両をリースする事業者

2. 事業報告書等の提出

- ・エコドライブ等燃費改善取組体制構築・運用状況報告書
- ・燃費改善効果及びCO₂削減効果計算（当該年度及びその後1年間報告）

3. 補助対象車両と補助額

- ・車両3.5t超の事業用車両（緑ナンバー）
- ・新車で令和6年4月1日から令和7年1月31日までに新車新規登録された車両
- ・平成27年度重量車燃費基準を大型車は+5%以上、中型車及び小型車は+10%以上達成した車両
- ・廃車は令和6年4月1日から令和7年1月31日の間に廃車（スクラップ処理）され、直近まで稼働していた車両
- ※廃車車両の要件詳細についてはホームページをご確認ください
- ・具体的な対象車両区分と対象排出ガス規制識別記号、および補助額は下表のとおり

車型区分 (車両総重量)	2015年度 燃費基準	基準額 (万円)		備考排出ガス 規制識別記号
		廃車有	廃車無	
大型 (12t超)	+10%以上	75	50	2RG・2TG
	+5%以上	50	37.5	2PG
中型 (7.5t超～12t以下)	+10%以上	42	28	2RG・2TG
小型 (3.5t超～7.5t以下)	+10%以上	15	10	

- ・2025年度重量車燃費基準適合車は、+5万円とする

4. 申請台数

1事業者4台

5. 申請受付期間

令和6年6月10日（月）～令和7年1月31日（金）まで

※予算額の残額が2割程度に達した場合、当該日翌日以降から令和7年1月31日までの申し込みを対象に受付。残額を超える場合には、初めて申請を行う事業者を優先して抽選を行うなど配慮し実施。

6. その他

申請方法など詳細については、（一財）環境優良車普及機構（LEVO）のホームページをご確認ください。

<https://www.levo.or.jp/subsidy/diesel/>

お問い合わせ（一財）環境優良車普及機構

補助事業執行部 低炭素型ディーゼル車普及事業 TEL 03-5341-4577

※詳細については、当協会ホームページからもご覧いただけます。

<https://www.ishitokyo.or.jp> HOME > 最新情報

ご案内

令和6年度石ト協各種助成申込状況 ※6月25日現在

助成事業	申込状況
安全装置等導入促進助成 ①後方視野確認支援装置 ②側方視野確認支援装置（中型・大型自動車に限る） ③側方衝突監視警報装置（後付け装置のみ） ④呼気吹き込み式アルコールインターロック装置、 ⑤IT点呼に使用する携帯型アルコール検知器（Gマーク認定事業所が導入する場合に限る） で全ト協が指定した装置を導入した場合 ⑥大型車用トルク・レンチ	25%
健康診断受診助成 一般健康診断を受診した場合	72%
ドライブレコーダー機器導入促進助成 全ト協が指定した装置を導入した場合	24%
ドライバー・安全運転管理者の安全運転教育の助成 全ト協指定研修施設において所定の講座を受講した場合	25%
エコタイヤ・再生タイヤ導入促進助成 別で定める環境対策の取組みに効果のあるタイヤを導入した場合	33%
環境対応車導入促進助成 車両総重量2.5t超の天然ガス自動車、ハイブリッド自動車、電気トラック、燃料電池トラックを導入した場合	0%
EMS機器導入促進助成 ※デジタコ等 全ト協が指定した装置を導入した場合	37%
アイドリングストップ支援機器導入助成 エンジン停止時に相当時間連続して使用可能な車載用冷暖房機器を導入した場合	90%
睡眠時無呼吸症候群（SAS）スクリーニング検査助成 SASの検査で、第1、2次検査を全ト協が指定する医療機関で受診した場合	30%
大型・中型・準中型・けん引免許取得及び受験資格特例教習修了助成 助成対象期間内に自動車教習所へ入校し、標記免許課程を修了、支払が完了し、標記免許を取得した場合	42%
血圧計導入助成 全ト協が指定した機器を導入した場合	90%
信用保証協会保証料の補助（事前申請不要） 石川県信用保証協会の保証を受け、銀行から融資を受けた場合	0%
中小企業大学校講座受講料一部助成 中小企業大学校の研修コースを受講した場合	29%
脳健診（脳ドッグ・脳MRI）受診促進助成 脳健診（脳ドッグ・脳MRI）を受診した場合	23%
自動点呼機器導入助成 全ト協が指定した機器を導入した場合	40%
「働きやすい職場認証制度」認証取得助成 「働きやすい職場認証制度」を認証取得した場合	2%
インターンシップ導入助成 全ト協のインターンシップ受入事業者として登録し、高等学校以上の教育機関からの依頼によりインターンシップを受入れた場合	0%

※上記は「事前申請」が必要な助成制度です。その他の助成制度につきましては、ご案内の冊子「令和6年度助成制度」または、当協会ホームページでご確認ください。

<http://www.ishitokyo.or.jp/josei.php>

TOP > 助成・融資制度



第25回

運動達成を目指してチャレンジしよう!

SDラリーコンテスト

SD Rally Contest 100 days without accidents

まっすぐなキモチで明日へと運ぶ
未来へつなごう無事故・無違反

トラックの日

運動期間：令和6年7月2日 ▶ 10月9日

無事故
無違反 **100日運動** 実施中

■主催



一般社団法人
石川県トラック協会

■後援
■協賛

北陸信越運輸局石川運輸支局 石川県警察本部
自動車安全運転センター石川県事務所





交通・環境対策委員会

20日 プラン2025目標達成フルセミナー

交通・環境対策委員会（新出勝委員長）は、セミナーを開催し、交通事故削減に向けた取り組みなどについて学びました。（石川県トラック会館）



石ト協

27日 全ト協通常総会

全日本トラック第101回通常総会（坂本克己会長）が開催され、当協会正副会長ら7名が参加しました。（第一ホテル東京）



路線部会

27日 第16回路線部会

路線部会（生駒信之部会長）は、会議を開催し、令和5年度事業報告や令和6年度事業計画のほか、正副部会長候補者の選出について協議し、新たに堀井裕介氏（トナミ運輸(株)北陸主管支店長）が部会長に就任しました。（石川県トラック会館）



適正化実施機関

～28日 Gマーク申請に係る相談所

適正化実施機関は、7月から始まる安全性評価事業（Gマーク）申請受付を前に、Gマーク申請に係る相談所を開設し、書類作成など申請予定者の相談に応じました。（石川県トラック会館）

News Calendar

6月の
おもなNEWS

JUNE 2024



石ト協

1日 省エネ走行研修

石川県トラック協会は、会員事業所から20名が参加のもと、省エネ走行研修を実施しました。研修では、施設内のコースを4トントラックで走行し、燃費データを計測することで、普段の運転方法とインストラクターの指導による省エネ運転との違いを体感するなど、燃費向上に向けたエコドライブ技術などを学びました。このほか、死角検証やトラックの構造上の特性などについても再確認しました。（愛知県トラック協会中部トラック総合センター）



青年部会

7、26日 加賀飛脚再現事業に関するワーキンググループ

青年部会は、ワーキンググループを開催し、加賀飛脚再現事業の実施にあたり、人員配置や役割分担などについて確認しました。（石川県トラック会館）

熱中症の症状



! 応急処置をしても症状が改善されない場合は医療機関を受診しましょう

熱中症が疑われる人を見かけたら(主な応急処置)

❄️ エアコンが効いている
室内や風通しのよい日陰
など涼しい場所へ避難

❄️ 衣服をゆるめ、からだを
冷やす
(首の周り、脇の下、足の付け根など)

❄️ 水分・塩分、経口補水液※
などを補給
※水に食塩とブドウ糖を溶かしたもの



megaphone チェック! 自力で水が飲めない、応答がおかしい時は、
ためらわずに救急車を呼びましょう!



ご注意

暑さの感じ方は、人によって異なります

その日の体調や暑さに対する慣れなどが影響します。
体調の変化に気をつけましょう。

室内でも熱中症予防!

暑さを感じなくても室温や外気温を測定し、扇風機や
エアコンを使って温度調整するよう心がけましょう。

高齢者や子ども、障がいをお持ちの方は、特に注意が必要!

熱中症患者のおよそ半数は65歳以上の高齢者です。
高齢者は暑さや水分不足に対する感覚機能が低下しており、
暑さに対するからだの調整機能も低下しているため、注意が必要です。
また、子どもは体温の調節能力がまだ十分に発達していないので気を配る必要があります。

こまめに
水分補給



厚生労働省
ひと、くらし、みらいのために
Ministry of Health, Labour and Welfare



トラックGメンに お聞かせください

トラック運送事業における取引の適正化や労働環境の改善を促すため、国土交通省に**トラックGメン**が創設されました。以下に掲げる行為を行っている疑いのある荷主・元請事業者に対し、法令に基づいて「働きかけ」「要請」「勧告・公表」を行っています。



長時間の荷待ち



契約にない附帯業務



運賃・料金の不当な据置き



過積載運送の指示・容認



異常気象時の運送依頼



無理な運送依頼



このような行為でお困りでしたら、
私たち**トラックGメン**にお聞かせください。

詳しくは国土交通省物流・自動車局貨物流通事業課のホームページをご覧ください。

https://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_tk4_000116.html



国土交通省 物流・自動車局 安全政策課 業務前自動点呼の先行実施要領について

自動車運送事業における運行管理については、道路運送法又は貨物自動車運送事業法体系において、輸送の安全の確保のため、自動車運送事業者において、営業所に運行管理者を配置し、原則として対面により点呼を行い必要な指示を与えること等が定められています。

令和5年4月以降、対面による点呼と同等の効果をもつものとして国土交通大臣が定める方法を定める告示（令和5年国土交通省告示第266号）の要件を満たしたうえで営業所を管轄する運輸支局へ届出を行うことにより、業務後自動点呼を実施することが可能となりました。

今般、業務後のみならず、業務前自動点呼を行う事で、運行管理者の負担を軽減することや、慢性的な人手不足への対応が期待されることから、業務前自動点呼に係る先行実施事業を別添の「自動車運送事業における運行管理の高度化に向けた業務前自動点呼の先行実施要領」に基づき実施することとなりました。

なお、自動車運送事業者が実施要領に基づいて業務前自動点呼を行った場合、旅客自動車運送事業運輸規則（昭和31年運輸省令第44号）第24条第1項又は貨物自動車運送事業輸送安全規則（平成22年運輸省令第22号）第7条第1項の規定に適合する点呼が行われたものとして取り扱うこととします。

※詳細につきましては、当協会ホームページをご確認ください。

<https://www.ishitokyo.or.jp/>

全日本トラック協会 梅雨期及び台風期における 防災態勢の強化について

例年、梅雨期及び台風期においては、各地で局地的大雨や集中豪雨が観測され、多数の人的被害及び住家被害が発生しております。

とりわけ近年は、毎年のように大規模な風水害が発生しており、全国各地で土砂災害や浸水被害が頻発化・激甚化していることから、中央防災会議会長より、梅雨期及び台風期を迎えるに当たり、人命の保護を第一義とし、防災態勢の一層の強化を図るよう通知がありました。

つきましては、本趣旨をご理解のうえ、災害時の円滑かつ迅速な対応を図るため、災害対策に関する自治体等との連携、各種取組への積極的な協力・支援等をお願いいたします。

※詳細につきましては、当協会ホームページをご確認ください。

<https://www.ishitokyo.or.jp/>

新規会員のご紹介

(株)駒井運送

代表者名：駒井 優紀

〒920-0003 金沢市足田2-199

TEL：076-207-3207

FAX：076-209-0948

車両台数：6台

支部：金沢第三支部

EVENT CALENDAR 7月の行事予定

1日(月)	2024年度貨物自動車運送事業安全性評価事業申請受付 ※～14日 湯涌温泉氷室冰雪献上(石川県庁、金沢市役所)
2日(火)	第25回SDラリーコンテスト無事故・無違反100日運動スタート ※～10月9日
4日(木)	建設輸送部会建設輸送業界の経営健全化に関する要望活動(金沢市内) 石川商工中金会総会(ホテル日航金沢)
6日(土)	青年部会第3回災害支援活動(珠洲市内)
9日(火)	石川支部第52回運営委員会(グランドホテル白山) 湯涌温泉氷室冰雪献上(東京都) ※～10日 石川県警察官友の会通常総会(金沢商工会議所会館)
11日(木)	夏の交通安全県民運動 ※～20日
13日(土)	運行管理者試験事前講習会(石川県トラック会館)
16日(火)	石川県道路整備促進協会定期総会(ホテル日航金沢)
17日(水)	高速安協「夏の交通安全県民運動」に伴う交通安全キャンペーン(徳光PA)
18日(木)	第116回広報委員会(石川県トラック会館)
19日(金)	金沢マラソン競技運営部会・交通対策部会(金沢市役所)
20日(土)	金沢第一支部白山交通安全祈願(白山) ～21日
22日(月)	石川運輸支局・適正化実施機関定例会議(石川運輸支局)
23日(火)	金沢第二支部第37回運営委員会(石川県トラック会館)
24日(水)	金沢第三支部第36回運営委員会(石川県トラック会館)
25日(木)	金沢マラソン組織委員会(金沢ニューグランドホテル) 金沢トラックステーション給油所総会(金八)
26日(金)	北陸新幹線建設促進石川県民会議総会(石川県地場産業振興センター)
30日(火)	石川県直轄国道整備促進部会総会(ホテル日航金沢)

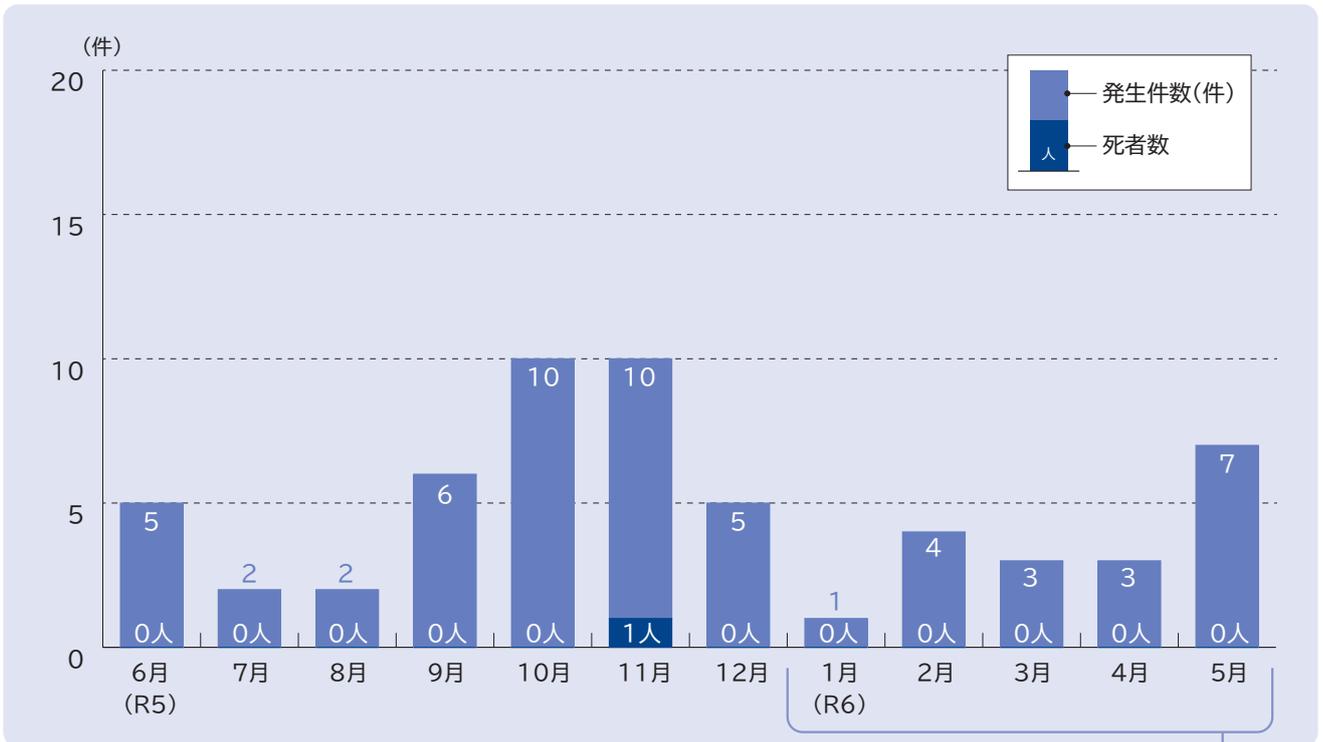
会員名簿の変更・訂正

項	行	事業者名	変更項目	変更内容
25	12	千代田運輸(株)	代表者名	水野 功
32	4	(株)ケー・ディー・エス	〒	921-8061
34	1	北陸名鉄運輸(株)	代表者名	鈴木 雅博



交通事故情報

石川県内 事業用貨物車の交通事故発生状況(第1当事者)



内訳 令和6年事故類型別発生状況(1~5月)

	人对車両	車両相互							車両単独	列車	計
		正面衝突	追突	出会い頭	追越・追抜	すれ違い時	右・左折時	その他			
件数	2(+1)	0(±0)	8(-5)	3(-4)	0(±0)	0(-1)	3(±0)	2(±0)	0(±0)	0(±0)	18(-9)
死者	0(±0)	0(±0)	0(±0)	0(±0)	0(±0)	0(±0)	0(±0)	0(±0)	0(±0)	0(±0)	0(±0)

※ () 内は昨年比

(提供/石川県警)

(参考)

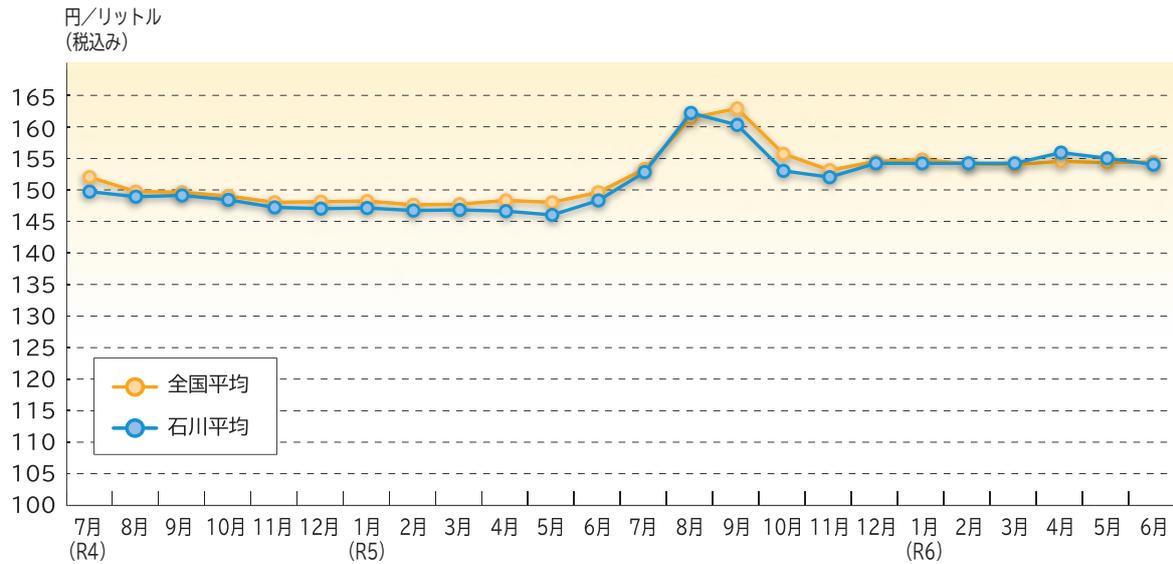
石川県内全車種(乗用車含む) 令和6年交通事故発生状況 1~5月(増減)

発生件数	死者数(人)
719(-97)	8(-3)



軽油価格情報

軽油小売価格推移表 経済産業省調べ “給油所軽油小売価格”

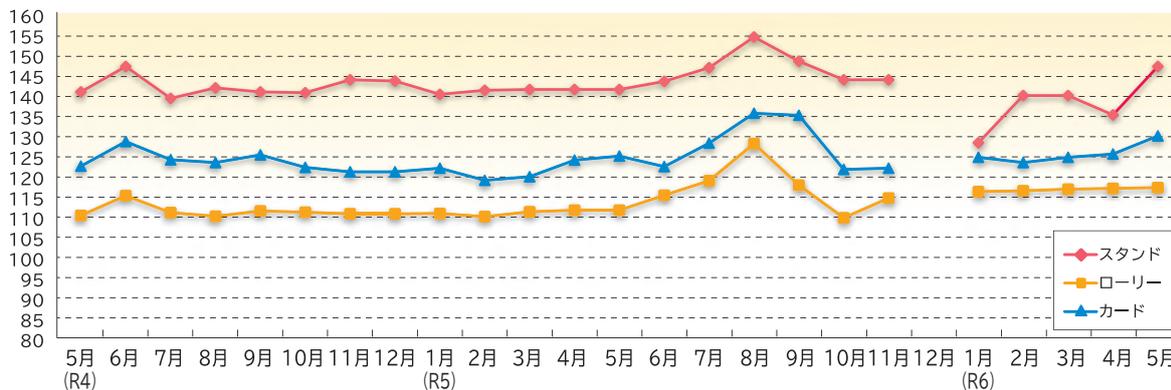


平均価格	R5 6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6 1月	2月	3月	4月	5月	6月
全国	149.6	153.3	161.4	162.9	155.7	153.1	154.5	154.8	154.1	154.0	154.5	154.3	154.4
石川	148.3	152.8	162.2	160.3	153.0	152.0	154.2	154.2	154.2	154.2	155.9	155.0	154.0

石ト協 軽油価格等実態調査結果報告

●調査方法…県内30事業者へのアンケート調査

(地域：石川県内)



(消費税抜き)

平均価格	R5 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6 1月	2月	3月	4月	5月
スタンド	141.2	143.2	146.6	154.2	148.2	143.6	143.6	—	128.0	139.7	139.7	134.9	146.9
ローリー	111.3	115.0	118.6	127.8	117.5	109.4	114.3	—	115.9	116.1	116.5	116.7	116.9
カード	124.7	122.1	127.9	135.3	134.8	121.4	121.7	—	124.4	123.1	124.4	125.2	129.7
値上げ 要請額	0 (1社)	4.3 (5社)	0 (9社)	7.6 (10社)	0 (7社)	0 (6社)	3.8 (6社)	—	2.1 (6社)	0 (5社)	0.3 (5社)	3.1 (5社)	0 (8社)

※値上げ要請額は、要請があった事業者の平均額。()内は、要請のあった事業者数。
 ※令和5年12月分の軽油価格調査は「令和6年能登半島地震」の影響等により実施できず。

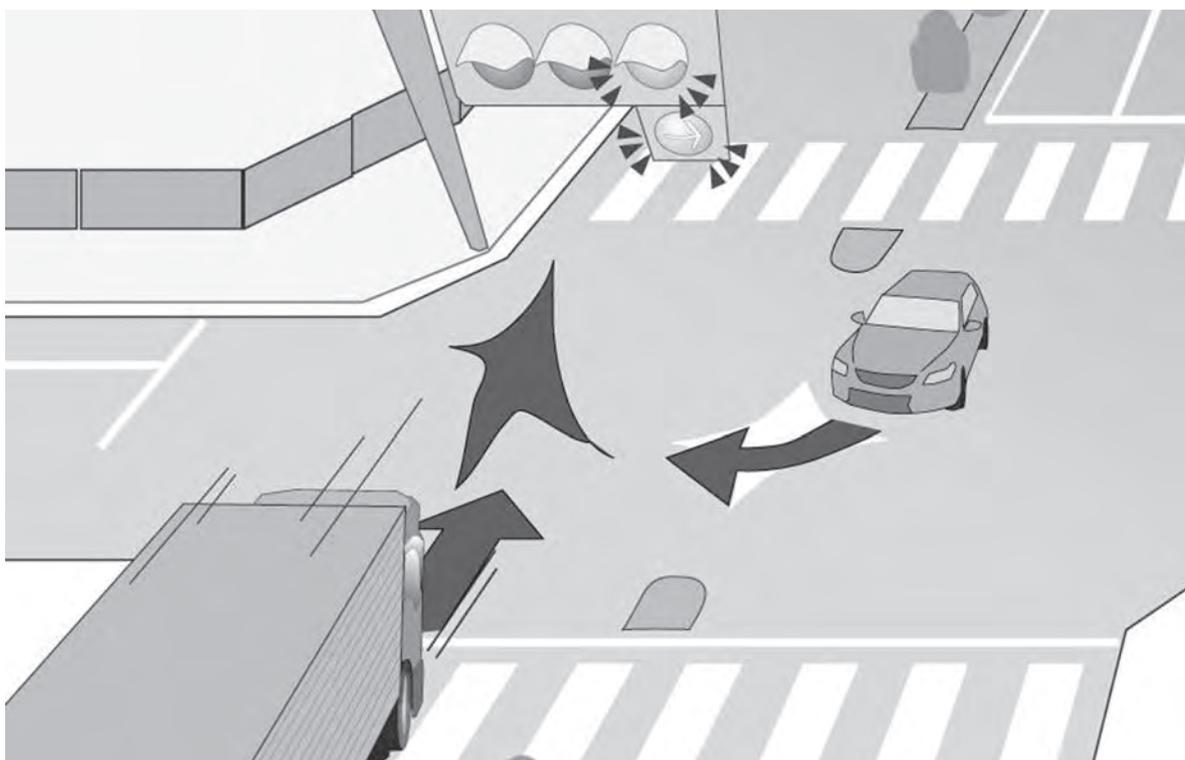
事故に
学び
安全運転に
生かす

事例研究 Re-Study13

交差点で対向右折車と衝突

事故の概要

- 発生日時 10月〇日(〇) 午後1時50分頃 天候 晴れ
- 発生状況 運転車が配送先に向かって走行中に、赤信号を見落として交差点に進入したところ、右折矢印信号にて右折を開始した相手車と衝突し、相手が重傷を負ったもの。
- 事故当事者 55歳男性 相手側 58歳男性
- 事故原因 運転者は、午後一番の配送先へ向かっていました。この日はぽかぽか陽気で昼食後でもあり少し眠気を覚えたため、ガムを噛んで頭をスッキリさせようと思いました。そして、助手席においたガムに手を伸ばして取りだし、目線を前に戻したところ、目前に相手車が迫っていました。あわててブレーキを踏みましたが間に合わず、衝突してしまいました。一瞬の脇見の間に交差点の信号機は赤色に変わり右折矢印が点灯していたのです。運転中のちょっとした考え事や脇見の間に、交通状況は刻々と変わっていきます。常に危険を探すよう注意を集中させ安全運転に徹したいものです。



提供：中部交通共済協同組合 事故防止部

被害／損害

58歳男子後遺障害4級

総損害額 7,500 万円

■被害概要

- ・被害者の職業 会社員
- ・被害状況 両下腿骨開放骨折、右大腿骨骨幹部骨折、左下肢切断など
入院11ヶ月・通院17ヶ月

■損害額内容

・治療費	1,700万円
・休業損害	560万円
・慰謝料（傷害）	220万円
・逸失利益	4,000万円
・慰謝料（後遺症）	720万円
・その他（住宅改造費等）	300万円
計	7,500万円

■運転者について

今回の事故により運転免許取消（1年）の行政処分を受けました。

被害者について

この事故により、被害者は左足の膝より下を失いました。

入院治療中の事故より約2ヶ月後、医師より車イス生活になることを宣告され、更にその2ヶ月後には、左下肢用廃の可能性が大きく、左足の膝より下を切断するしか治療の方法が無いことを告げられました。その時の被害者の心情を察するには、あまりにも悲惨であり、家族でさえ掛ける言葉がありませんでした。

定年まで2年を切り、いまの仕事を全うすることだけを考え、仕事に励んでいた矢先に今回の事故に遭い、会社に多大な迷惑を掛けてしまったことを被害者は悔やんでいましたが、勤務先が被害者のこれまでの会社に対する功労を踏まえて欠勤扱いとし途中解雇しなかったおかげもあり、被害者は無事定年退職をむかえることが出来ました。

被害者の家族（妻と息子2人）は、今は、車イスと松葉杖の生活になった被害者を含め家族4人で協力し、支えあって生活していますが、将来的にはさまざまな面で大きな不安を残しているのが現実です。

この事故から学ぶ事

今回の事故の直接的な原因は運転者の前方不注視にあります。

単調な道路や交通状況での運転は、注意力が低下し漫然運転に陥りがちです。特に昼食後の時間帯は、人間の生体リズムの影響もあり、眠気を催し注意力が散漫になったことは、誰しも経験があると思います。

今までに何度もお伝えしていますが、時速50kmで走行してる場合は1秒間に約14m、時速70kmでは約20mも進みます。一瞬目を離しただけで、車は自分が思っている以上に走行してしまうのです。

運転中のちょっとした考え事や脇見の間に、交通状況は刻々と変わっていきます。常に危険を探すよう注意を集中させ安全運転に徹したいものです。

提供：中部交通共済協同組合 事故防止部



青年部会（東崎真也部会長）は、被害が甚大であった能登地域（能登支部・奥能登支部）の部会員（18社）に、部会で募った「令和6年能登半島地震災害見舞金」を一律配布しました。心温まるご厚意をお寄せいただき、ありがとうございました。（6月7日／加賀飛脚再現事業にかかるワーキンググループ）

旬の

「じわもん」
味わいまっし!

JIWAMON



石川のすいか

石川県の面積は4,185平方キロメートルで森林は69%、農地は12%で、すいかは農業品目のうちコメ、鶏卵、生乳、豚に次いで5番目の重要な品目となっています。

産地は加賀から能登にかけて分布していて、栽培地帯を分類すると砂丘地すいか、赤土すいか、河北潟すいかですが、一番多く栽培されているのは砂丘地すいかです。

特徴は、白山や宝達山系からの伏流水が流れる日本海の砂丘で水はけが良いこと、砂丘地の砂は早朝は冷えていて昼間暑く、夜涼しいという寒暖差があり、それがすいかの甘みを増してくれます。

夏は石川のすいかが一番！すいかを食べて夏を乗り切りましょう。